



とうかい

第 20 号

公立学校
共済組合 **東海中央病院**

◆基本理念◆

「最高の誠意」「最善の医療」

◆基本方針◆

- (1) 患者さま尊重の医療
- (2) 診療機能の向上
- (3) 健全経営の維持

椎間板ヘルニアの治療

整形外科 中島 晶

はじめに

人間は二足歩行を始めてせいぜい100万年ほどしかたっていません。もともと4本足で歩く為や水の中を泳ぐ目的にデザインされている背骨（人間も脊椎動物ですから）で無理やり二足歩行生活をしている人類には、腰痛や腰椎疾患はさけられない敵かもしれません。

椎間板ヘルニアとは

外来診療をしておりますと、腰の痛み、でん部から下肢への痛み（坐骨神経痛）、下肢の痺れなどを訴えられる患者さんが多数来院されます。これらの症状を引き起こす代表的な疾患が、椎間板ヘルニアです。椎間板ヘルニアとは、腰骨と腰骨を連結する軟骨の一部がお餅のように膨らんで、一部が飛び出してしまう神経を圧迫する病気です。圧迫された神経の障害から、腰から足にかけての様々な症状が出現します。ちょうど肘をぶつけた時に手先にビリーンと電気のような衝撃が走るのと同じ原理です。

椎間板ヘルニアの診断

ヘルニアの診断は問診と所見（患者さんの体を触った感触や反応の事）レントゲン検査やMRI検査によって行われます。特にMRIは身体への悪影響もなく、鮮明に痛みの原因となるヘルニアを描出できる極めて優れた検査です。

椎間板ヘルニアの治療1（手術以外の治療＝保存治療）

現在少なくとも90%以上の椎間板ヘルニアは、自然治癒するのではないかとされています。したがって患部の安静、コルセットの装着、痛み止めの内服などで痛みを緩和し、自然治癒までの時間を稼ぐことも治療のひとつです。しかしこれらの治療が奏功しない場合は、持続骨盤牽引、ブロック注射など、手術を回避するための努力を行っていきます。一部にはレーザーによる治療も行われていますが、やや誇大広告風の宣伝に比べて効果は限定的のようで、保険も利きません。現状では椎間板に対するブロック注射のほうが有効性と安全性で優れている印象をもっています。

椎間板ヘルニアの治療 2（手術治療）

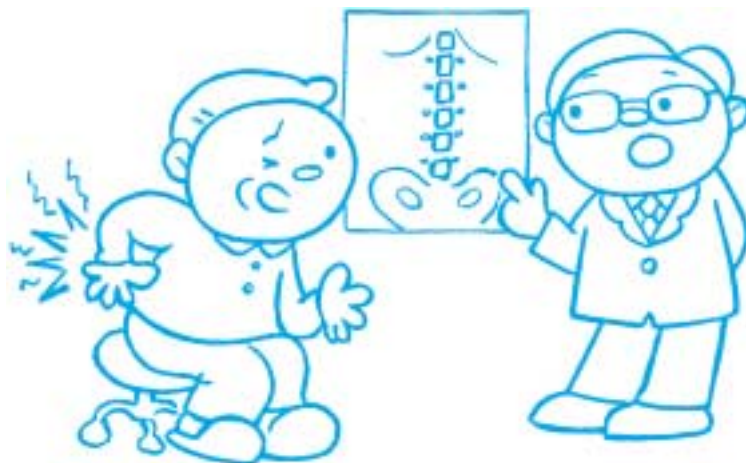
多くの椎間板ヘルニアの患者さんは保存治療によって完治します。一方で脊柱管狭窄症といわれる腰椎の老化現象が加味された状態の患者さん、すべり症を併発している患者さんなどは難治性で手術を要する場合があります。腰椎、脊髄の手術と聞くと恐ろしいイメージがありますが、技術の進歩で現在は非常に簡単かつ安全になりつつあります。手術ですからもちろん危険はありますが、全身麻酔で手術時間は30分から40分程度、手術用顕微鏡を使用しますので、神経の安全性も肉眼で行うのに比べ格段に高いものとなっています。手術後4日目に歩行を開始し8日目には抜糸、9日目には退院です。患者さんの希望によっては手術後6日目で退院も可能でしょう。

自分に最適の治療を選びましょう

椎間板ヘルニアは神経を圧迫する病態ですから、あまりにも病状を放置し我慢しますと神経の不可逆的なダメージにより、下肢の麻痺が残ったり手術をしても痛みが引かなかったりする可能性があります。従っていたずらに時間をかけて、たとえば牽引療法のみで治療する方針には疑問を感じます。脊柱管狭窄症を合併しているような場合は、特に慎重な判断が必要でしょう。しかし一方で自然治癒の可能性が高い訳ですから、いきなり手術というのも極めて過激です。十分な保存治療を行っても良くならなかった、麻痺がある、再発、再燃を繰り返すなどの、手術をするのに十分な理由が無ければ手術を受けるべきではありません。ではどうやって自分に一番よい治療を見つけるか？それは医者とよく話すことで見つかります。納得できる診断、病状、治療方針の説明を聞きましょう。症状、仕事の内容や会社での立場、いままで受けてきた治療をよく伝えてください。納得できる説明に基づいて受けた治療は必ずよい結果に結びつきます。

おわりに

ヘルニアは現在技術力の進歩などにより、治りやすい腰椎疾患の一つとなっています。とにかく何でも相談することが大切です。症状があれば早めに受診してください。



最新型の血管撮影装置を導入しました 放射線科

11年使用した血管撮影装置が平成17年1月に新しくなりました。新装置も旧装置と同様に頭部、心臓、腹部、四肢と全身に対応した装置です。といってもCTやMRIのように検査数は多くないため、どんな検査をしているかわからない方も多いと思います。血管撮影について簡単に説明します。どんな時にこの検査をするかという、例えば脳出血や梗塞、心筋梗塞や腹部に腫瘍ができたときなどです。検査の内容はカテーテルという細い管を腕や足の付け根から血管内に挿入して、カテーテルの先から造影剤を注入し病変部位の血管をX線で連続撮影します。すると、血管の形態や血流の状態を知ることができ、臓器の血行動態もわかります。それにより、診断をします。場合によっては治療を行なうことがあります。どのような治療が行なわれるかという、狭くなった血管をひろげて血行状態を改善させる。腫瘍の栄養血管に薬液を注入する。体内で出血している場合、その血管を詰めて止血する。頭部動脈瘤に出血をしないようにコイルをいれる。というようなことを行います。外科的手術をしない分、苦痛が少ない治療法といえます。

新装置と旧装置の外見はほとんど同じですが、変わったところといえばデジタル技術の向上により画像が高精細になり治療に使う細いカテーテルやワイヤーがよく見え作業しやすくなりました。頭部血管3次元処理をすることによりパソコン上で任意の角度でも観察でき、動脈瘤の大きさや体積も計算できます。細いカテーテルを間違えることなく病変部位まで進めるためのロードマップ機能の画質が良くなりました。装置の出力が上がりストレスを感じることなく連続して撮影でき、太った方の画像が以前より良くなりました。また、放射線被ばくが旧装置と比較すると数パーセント減少し、常時照射線量が表示できるようになりました。これらのことは直接患者の皆様にはあまり関係のないことのように思えますが診療の質が向上し患者の皆様により良い医療ができることになります。我々はこれからも患者の皆様利益となる画像を提供し、放射線被ばくが少なくなるよう努めてまいります。

第1回 地域交流勉強会を行いました！

去る6月25日土曜日に各務原市内の医療・福祉関係者を招いて、当院において勉強会を行いました。栄養サポートチーム（NST）の医師からNSTの役割や活動についてと、近年急増しているPEGについて講義がありました。栄養士からは創傷治療への栄養の役割について必要エネルギーの講義がありました。また、看護師からはNSTの介入により栄養状態がよくなり褥瘡が軽快した事例と、食事に関わる細かなケアによって食べられるようになった事例の紹介がありました。地域からは8施設、18名の参加があり、当院の職員の参加も多数ありました。味の素ファルマ株式会社の協力にて、流動食の試飲やサンプルの配布等があり、和やかな雰囲気で行うことができました。質疑応答では地域の方から日ごろ困っているPEGのスキンケアについての悩みや疑問、高齢者のたんぱく質を補う工夫について、褥瘡の処置方法についての質問が活発に出され、勉強になったと有意義な感想を聞くことができました。今後もスキンケアやPEGの取り扱い、褥瘡の処置方法についての地域交流勉強会を予定しています。次回は10月22日土曜日午後2時からです。医療・福祉関係者のみなさん是非お越しください。

助産師外来のご案内

平成17年 8月より助産師外来がスタートしました。

毎週月曜日・金曜日 午前9時から11時30分
お1人 30分

助産師外来とは…

- ★助産師が行う妊婦健診です。いろいろな話をうかがいながら、みなさんそれぞれにあわせた保健指導を行います。妊娠中の悩みを相談したり、満足できるお産のために 何ができるかを一緒に考えましょう。
- ★完全予約制なので、長く待つことなく健診を受けることができます。静かな音楽と、心地よいアロマの香りの中で、超音波をつかってゆったりとおなかのあかちゃんをみてみませんか？
また、超音波の画像をビデオ録画してお渡ししています。
- ★ご家族の同伴も大歓迎です。上のお子さんと一緒に楽しく受診できます。
- ★病棟で実際にお産のお手伝いをしたり、育児指導をしている助産師が担当させていただきます。

受診できる方は…

- ★希望者で医師から順調に経過していると診断された妊婦さん
- ★妊娠24週と32週前後の妊婦さん



費用は…

- ★3,000円

※健診時に異常が疑われる場合には、医師による診察を受けていただく場合があります。

産後のおっぱいマッサージやベビーマッサージ（9月より開催予定）も予約で行っています。

皆様の受診を心よりお待ちしております。

◎初診・再診受付時間▶ 8:30～11:30

◎毎週土・日曜日祭日全科休診

保険証等の提示

お願い 月に一度は保険証・医療証等を保険証提示窓口
に提示してください。



とうかい

発行：〒504-8601 各務原市蘇原東島町4丁目6番地2
公立学校共済組合 東海中央病院
電話 (0583) 82-3101 / FAX (0583) 82-1762
発行人：病院長 間野 忠明 発行：年4回